

TOKYO Medical Association Hall



■アクセス

- JR中央・総武線 御茶ノ水駅 御茶ノ水橋出口 下車徒歩約3分
- 東京メトロ丸ノ内線 御茶ノ水駅 下車徒歩約4分
- 東京メトロ千代田線 新御茶ノ水駅 下車徒歩約5分

東京都医師会館

公益社団法人 東京都医師会

医療活動の拠点をめざして

TOKYO Medical Association Hall

東京都医師会館が神田駿河台の地に竣工いたしました。

東日本大震災の影響で旧会館の耐震強度等に問題が生じたため新会館の建設が切望され、これまで代議員会や会館建設特別委員会等において検討を重ねてまいりました。

新たな東京都医師会館は、地上8階、地下1階建てで「安心・安全」「使いやすさ」「環境配慮」の3つをポイントに“医療活動の拠点”をめざして設計された施設です。

免震構造を採用することで耐震安全性を高め、インフラ途絶時にも機能維持が可能な設備を備えています。また、有事における利用者の人命確保に加えて、災害医療活動の指令拠点として必要な機能を確保しています。例えば、災害時の帰宅困難者対策として400人の3日分の水、食料等を防災備蓄倉庫に備えております。

環境配慮型の建物として日射制御と昼光利用を両立させたほか、断熱、遮熱効果の高い窓ガラス、節電・節水型の設備を採用する等、エネルギー消費量の削減も図っています。

会員にとっても都民の皆様にとってもシンプルながら機能に優れた使いやすい会館ができたことと自負しております。東京都における医療・介護・福祉および災害時の拠点として活用されることを期待しております。

最後に、新会館の建設にあたりご協力ご支援を賜りました会員、地区医師会および関係者の皆様に深謝申し上げます。

平成28年10月



東京都医師会長
尾崎 治夫



1F エントランスホール



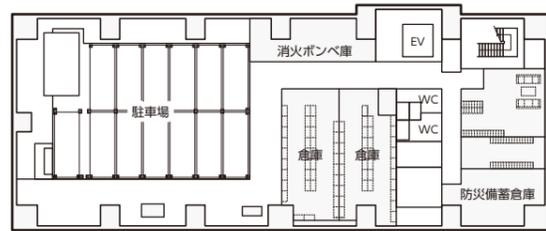
2F 講堂



8F コミュニティルーム

B1F/1F

駐車場・倉庫(B1F)

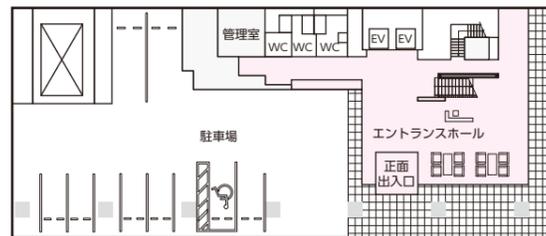


防災備蓄倉庫には帰宅困難者400名と医師会役職員の3日分の水、食料等が備蓄されます。

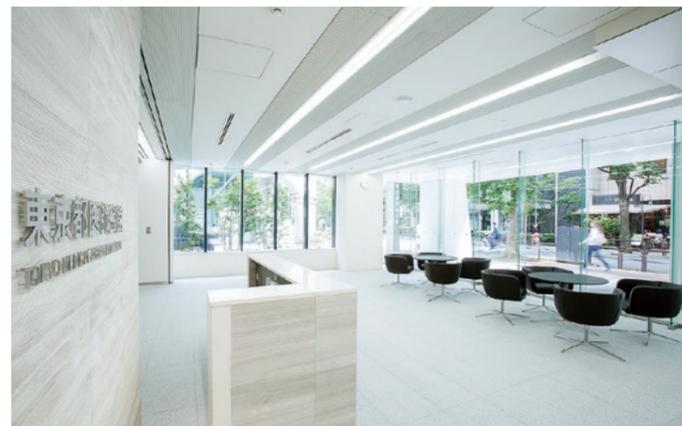


1F 駐車場

エントランスホール・駐車場(1F)

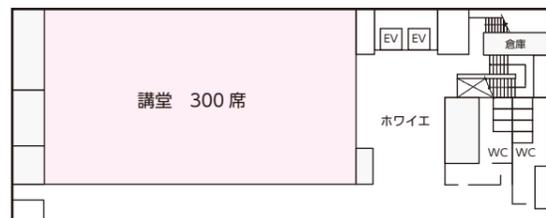


災害時には帰宅困難者の受入場所として、2Fと合わせて400名まで受け入れることが可能です。

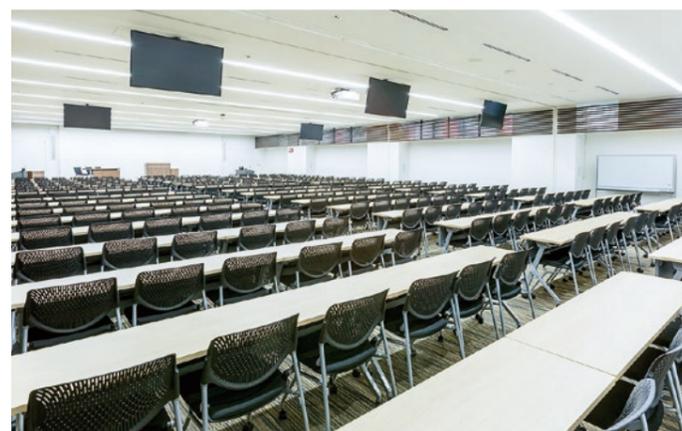


1F エントランスホール

2F 講堂



300席収容可能な講堂としての利用の他、大小様々な会議にも対応できるよう、内部パーティションを設けています。



2F 講堂

3F/4F

貸事務所フロア(3F)

医療関係団体が入居しています。



医療トレーニングセンター・貸事務所フロア(4F)



4F 医療トレーニングセンター (シミュレーションラボ1)

医療従事者・都民向けに実施する研修や、教育プログラムを行う新たな施設です。

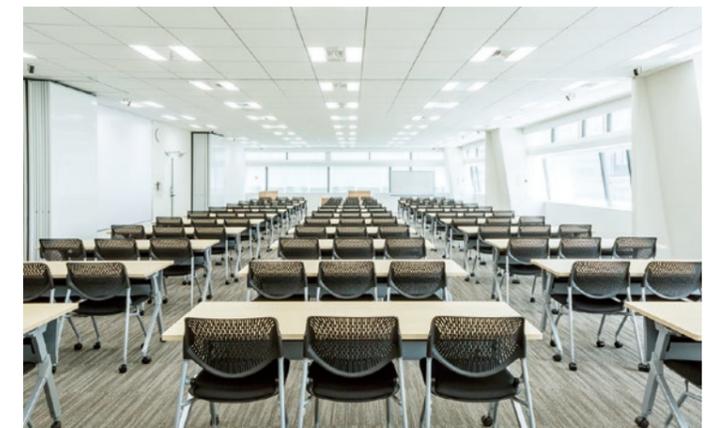


4F 医療トレーニングセンター (シミュレーションラボ2)

5F 会議室フロア



6つの会議室を設置。連結して大会議室として使用ができます。



5F 会議室 (大会議室)



5F 会議室

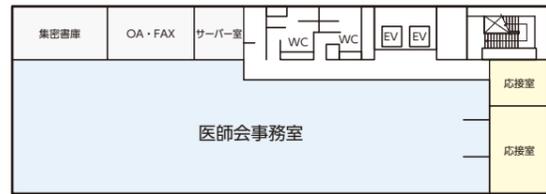


5F 会議室 (単室)



5F 会議室 (単室)

6F 医師会事務局フロア



医師会事務局、応接室。

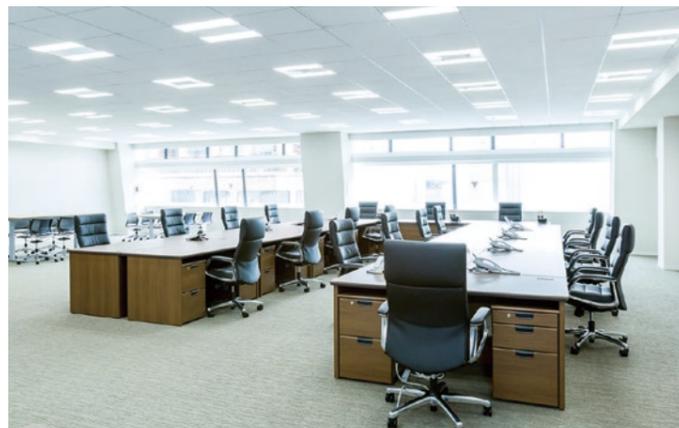


6F 医師会事務局

7F 医師会役員フロア



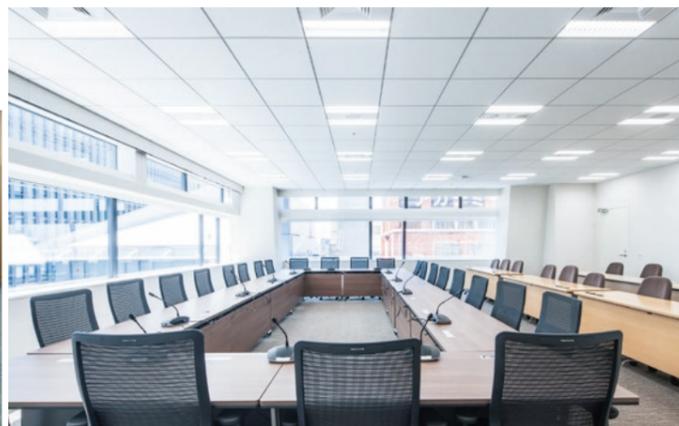
会長室、役員執務室、議長・副議長室、理事会・会議室。



7F 役員執務室

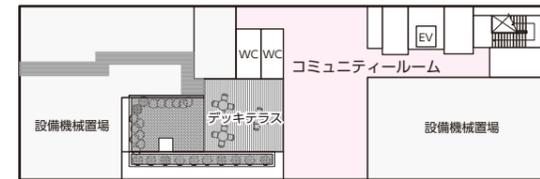


7F 会長室



7F 理事会・会議室

8F コミュニティールーム



会員等の情報交換の場として利用ができます。



8F デッキテラス



8F コミュニティールーム

■東京都医師会館のあゆみ

- 昭和47年7月 東京都の建設による東京都がん検診センターとして竣工
- 平成12年4月 東京都より土地及び建物を購入、東京都医師会館となる
- 平成15年4月 東京都がん検診センター移転に伴い、施設を全面改修
- 平成26年4月 旧会館での業務終了、仮事務所(住友商事竹橋ビル13階)へ移転
- 平成26年8月 新会館建設の開始
- 平成28年3月 新会館竣工
- 平成28年6月 新会館へ移転

■新会館のポイント

構造

免震構造とすることで大地震時の建物の損傷を少なくし、建物利用者の人命確保に加え、災害医療活動の指令拠点として必要な機能確保を実現しています。地下階の柱頭に免震装置を配置することで、根切り量及び躯体量を削減。経済性にも配慮しています。

電力・通信

停電時の保安負荷用として発電機・タンクを屋上に設置。発電設備全てを免震構造に乗せることで安全供給にも配慮しています。燃料は建物の必要部分の稼働時間72時間を想定した容量としています。通信は災害時に途絶えた際の対応として衛星電話を採用しています。衛星電話を電話交換機へつなげるシステムで、一般電話機から衛星回線へ接続可能にしています。

機械

空調機は災害時にも信頼性の高い中圧ガスを熱源としたガスヒートポンプマルチエアコン(GHP)を採用。給水は屋上に設置している高架水槽により非常時は高架水槽の貯留分で給水が可能となります。また、下水道分断時はピットに設けた汚水槽に汚水を貯留することにより、非常時にも排水が可能となります。



■建物概要

構造：鉄骨造／
一部鉄筋コンクリート造の免震構造
階数：地下1階、地上8階
敷地面積：1,112.99㎡
建築面積：838.82㎡
延床面積：6,332.17㎡
建物高さ：33.37m
駐車場台数：19台
設計・監理：株式会社松田平田設計
施工：東急建設株式会社